

第5章 学識経験者の所見

1 学識経験者の所見

平成23年3月に阿波市教育委員会において、阿波市第1次教育振興計画が策定されています。教育ビジョン(基本構想)は、平成23年度から平成32年度までの10年間となっています。推進計画は、前期が平成23年度から平成27年度の5年間、後期が平成28年度から平成32年度の5年間となっています。

基本理念は「未来をつくる力 たくましく生きる力 郷土を愛する力」で、基本目標は「人が輝く まちが輝く 未来が輝く(阿波の人づくりプラン)」です。

そして、教育目標は次のとおりとなっています。

- 1 知育・徳育・体育・食育を中心に、夢を実現する基礎的な力が育つ環境づくり(学校教育)
- 2 主体性を尊重し、人間性と創造性を発揮する環境づくり(生涯学習)
- 3 健康で気力あふれる人が育つスポーツ環境づくり(スポーツ振興)
- 4 郷土を愛する心と創造力が育つ、新しい歴史と伝統を生み出す環境づくり(芸術・文化振興)
- 5 生命の尊重と真摯に生きる力が育つ環境づくり(青少年健全育成)
- 6 国際感覚豊かな人が育つ環境づくり(国際交流)
- 7 他者を尊重する心が育つ、平和で豊かな社会づくり(人権教育)

以上、教育振興計画が策定されたことは高く評価でき、敬意を表します。

教育振興計画に基づいて所見を述べます。

(1) 学校教育の推進

学校教育の整備は、南海・東南海地震が迫る中、児童・生徒が1日の大半を過ごす場であり、災害発生時の避難場所の役割を果たすことから、大俣小学校校舎と阿波中学校校舎の耐震化工事を実施され、バリアフリー化も図られ、小・中学校の耐震化率が83.6%(23年度77.0%)となったことはたいへん評価できます。

就学前の幼児教育では、八幡校区の幼保連携施設の計画が進んでいることは評価できます。4・5歳児の幼稚園での2年保育の完全実施、春休みの預かり保育の充実を検討し、推進されるよう期待します。

給食センター新築事業の設計・土質調査業務が実施されたことは評価できます。学校給食センターと学校が連携しての食育の推進に期待します。

(2) 生涯学習の推進

文化振興のための阿波市文化協会等への助成、生涯学習各種講座の開催、市内図書館4館指定管理契約更新、国民文化祭開催は評価できます。市内4図書館のシステム統合はたいへん評価できます。利用者の利便性の向上になったと思

ますが、利用者増、貸し出し増につながったか検証していただきたいと思います。

公民館活動、公民館での各教室の活動は評価できます。今後とも、生涯学習各種講座の自主活動・自主運営、指導者育成が課題と思われます。今後、参加者が固定化されないよう十分配慮していただきたいと思います。

(3) スポーツ振興の推進

阿波市ジュニア駅伝、阿波シティマラソン、総合型地域スポーツクラブ活動補助、チャレンジデーは評価できます。徳島駅伝については練習会等が開催され、選手育成に取り組み、平成26年の成績が12位になったことは、阿波市合併当時の最下位のことを考えると関係者の努力をたいへん評価いたします。体育協会所属の各協会・連盟、総合型地域スポーツクラブ(吉野・土成地区)が自主運営されていることは評価できます。

“市民ひとり1スポーツ”を目指し、スポーツ推進委員、体育協会等と協力し、市民の健康づくり、体力づくりに取り組んでいただきたいと思います。

阿波体育館耐震診断、土成緑の丘スポーツ公園テニスコート改修工事は評価できます。今後とも、体育施設の点検・改修工事を計画的に実施されることを期待します。

(4) 芸術・文化振興の推進

土成丸山古墳等の史跡維持、御所神社・案内神社獅子舞補助、神宮寺茅葺方丈屋根修理補助は評価できます。今後、なお一層の埋蔵文化財の発掘、保存に努めていただくことを期待します。文化財専門職員を配置し、埋蔵文化財の発掘、土成歴史館・市場歴史民俗資料館の資料整理、企画展実施を検討していただきたいと思います。

(5) 青少年健全育成

成人式、青少年健全育成講演会、剣山夏山登山が実施されたことは評価できます。青少年育成センターを中心に青少年自立支援に取り組んでいただきたいと思います。

(6) 国際交流

外国語指導助手(ALT 4名)の配置、小学校英語活動、ALTによる英会話教室の実施は評価できます。今後、阿波市内在住の外国人や就労している外国人との交流拠点の場が提供され、国際交流活動の促進が図られることを期待します。

(7) 人権教育

人権ふれあいフェスティバル、心のリフォーム学級、人権問題講演会は評価できます。一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、地道な取り組みを期待します。

平成26年1月15日

学識経験者 笠井 恒美